



あいまち あいだよ



まちの支えあい活動
登録受付中!
お気軽に
お電話ください

通称「あいまち」

あいまち会員の内訳

まちの支えあい活動「あいまち」は、単発の活動がほとんどです。
定期的な活動もありますが、月に1~2回や年に数回…といった程度で、
毎週決まった曜日・決まった時間に活動することはありませんため、
気軽に支えあい活動に参加することができます!

H29年	相談件数	活動時間
4月	80	111.5
5月	90	127.5
6月	94	127
7月	96	115
8月	93	112
9月	91	112
10月	111	150.5
11月	126	176.5
12月	113	152
1月	82	103.5
2月	90	105.5
3月	102	106.

■ 相談件数
■ 活動時間
H29年度の相談件数と活動した時間をあらわしたグラフです。月によってこれだけのバラつきがあります。月に何度も活動できることもあります。しかもあれば、1ヶ月以上活動がない時もあります。

仕事のような気持ちの負担を感じず、ご自身の予定とタイミングが合った時に活動できるのが「あいまち」の特徴です!

第23号 2018年11月発行 編集・発行 大阪市鶴見区社会福祉協議会(あいまち事務局)

活動に役立つ掃除道具の正しい使い方へ

▶ あいまち会員研修会



内容: あいまちの活動で特に多い『お掃除』。プロから掃除道具について学び『お掃除力』をレベルアップさせてみませんか?

○講師: ハウスケアクリニック Tokunaga 代表 德永英人 氏

○日時: 平成30年11月21日(水) 午後1時30分~3時

○場所: 鶴見区在宅サービスセンター 3階会議室
★窓口・お電話で申し込みの受付をしています!★

《事務局お休みの予定》

年末は毎年たくさん大掃除のご依頼をいただくため、どうしても時間がかかり活動まで3週間以上かかることがあります。できるだけ早めにご相談ください。また、活動してくださる会員さんもお忙しい時期で、活動できる日が限られます。ご相談いただいたても、年内に必ず活動できるとは限らないことをご理解ください。
※12/29(土)~1/3(木)は年末年始のためお休みいたします※

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8
休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
12/3	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/3	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15
休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21	12/22	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21	12/22
休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29
休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5
休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休

「気軽に何か始めてみたいない！」という気持ちをあいまちで生かしてみませんか？いつでもご連絡お待ちしています！

まちの支えあい活動「あいまち」事務局

(運営：社会福祉法人 大阪市鶴見区社会福祉協議会)

☎ 06-6913-7066 /午前5時30分~午後9時
㈹ 538-0051 鶴見区諸口5丁目浜6-12 (鶴見区在宅サービスセンター内)

http://www.tsurumi-kushakyo.or.jp/aimachi

前回の交流会の報告

9月26日(水)にボランティアピューロー・あいまち合同研修「災害時のボランティア活動について知ろうー災害時の備えー」を開催しました。あいまち会員を含む40名の方にご参加いただきました。

台風被害の対応で忙しく予定していた講師が来れなくなつたため、急遽内容を変更する事態になり、参加者の皆さまにご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

「地震が来たとき何をしていましたか？」

大きな揺れで驚いたことや当日自分がどういう行動をとった等、地震が来た時の感覚を思い出しながら先生の話を聞きました。

「安心・安全な暮らししが失われてしまう」

災害が起こった時に【安心・安全な暮らし】を回復させる取り組みが必要になります。そこで自分たちで助け合う様々なボランティア活動が求められます。

「災害から助かるために



「自分に最低限必要なものは何だろう？」

いくつかのグループに分かれて持ち出し袋に入れるものを【水2L+10個選んでリュックに入れる】というルールを設けて考えました。“自分が助かるために必要なもの10個”を皆さん積極的に考えて議論されました。

「自分しか使えないものを優先して選ぶ」



「持ち出しがは持ち運べる重さにすること」

今回、講師としてお招きした大阪市ボランティア・市民活動センター浜辺氏は「他人に借りられないメガネ・入れ歯・補聴器は必須。他には①体温を下げない、②少しでも空腹を満たして安心感を得る、③自分の身を守る、といったことを意識して自分に必要なものを持ち出し袋に入れてほしい」とアドバイスがありました。

* 参加できなかつた方へ *

当日配布した資料が必要な方は、事務局までご連絡ください。お渡します！

